

くじゅうでお花見



くじゅうの長い冬が過ぎて野焼きが終わると、いよいよ春がやってきます！野焼きが行われた草原にはリュウキンカやハルリンンドウなどの花々が次々と咲き乱れます。山にはコブシやシャクナゲなど木にも多くの花が咲き始めます。春を待ちわびた草花が一斉に芽吹いていく光景は、いつもの景色に新しい色が次々と加わって、心がワクワクしますよね。さて、「お花見」と聞くと、みなさんはどんな花を想像しますか？お花見は古い歴史が

あります。当時は中国から伝来した梅の花を見ることがお花見だったようです。平安時代に入つて、お花見は梅の花から桜の花へと移り変わつていきました。

今回は、そんな春に咲くたくさんの花の中から、ヤマザクラとサクラソウにスポットを当てて、くじゅうのお花見を楽しむポイントを紹介していきます！

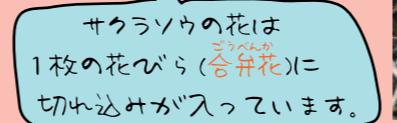
ヤマザクラ

ヤマザクラはバラ科の木で、日本で見られる野生のサクラの代表となる種です。ヤマザクラはポピュラーなソメイヨシノと違つて、花と葉が同じ時期に出てきます。新芽の色は赤色・茶色をしています。ソメイヨシノが日本で広まつたのは明治時代以降なので、江戸時代までのお花見で見ていたサクラは多くがヤマザクラだったのです。



サクラソウ

サクラソウはサクラソウ科を代表する花です。野焼き後の湿地や草原で鮮やかなピンク色の花を咲かせます。花弁は先に切れ込みがあります。お花見と言えば桜のイメージですが、江戸時代後期の絵にサクラソウの花見が描かれています。見るだけではなく「摘んで持ち帰る」という目的でサクラソウも花見の対象になつていていた歴史がありました。



サクラソウのなかま

タデ原ではサクラソウ科の植物を何種か見ることができます。タデ原湿原ではサクラソウ科の植物を何種か見ることができます。タデ原は木道が整備されており、比較的気軽に歩くことができます。サクラソウが多く咲いているのはタデ原のAコースで、一周約二十分程度でまわることができます。

クサレダマ

こちらも夏に黄色の花を咲かせます。大分県の絶滅危惧種に指定されています。



サクラソウのなかま

キヌミレモトイテビ！

くじゅうの草原で春一番に咲き始める花と言えば「キヌミレ」です。くじゅうではいろんなところで、キヌミレがたくさんのお花を咲かせているんですよ！

タデ原湿原でも見ることができますが、おすすめは久住高原側にある南登山口や一番水の周辺です。一面に咲き広がる春を告げる黄色の花にも注目です！



キヌミレの明るい黄色は野焼き後の真っ黒な大地でひときわ立ちます！

クサレダマ

こちらも夏に黄色の花を咲かせます。大分県の絶滅危惧種に指定されています。



オカトロノオ

夏に白い小さな花を虎の尾状に下から順番に咲かせます。



おすすめスポット



見頃: 4月下旬

見頃: 4月中旬

おすすめスポット

くじゅうのヤマザクラと言えば、「朽網分れ」の「四千本のヤマザ克拉」が有名です。朽網分れは久住高原にあるレゾネイトクラブくじゅうの近くの一番水登山口から、片道三十分ほどで行く事ができます。お子様連れやご年配の方でも無理のない程度で行つてみるのもおススメです。

ヤマザクラのなかま

くじゅうには何種類かサクラのなかまが自生しています。

- ♥ ウツミズザクラ
- ♥ ミヤマザクラ



ウツミズザクラ

ミヤマザクラ

ヤマザクラのなかま

花の時期が遅く、五月に葉が完全に開いた後に咲きます。くじゅうではヤマザクラより標高が高い場所に自生し、牧ノ戸・沓掛山間にも咲いています。

- ♥ ウツミズザ克拉
- ♥ クサレダマ
- ♥ オカトロノオ



クサレダマの明るい黄色は野焼き後の真っ黒な大地でひときわ立ちます！

キヌミレモトイテビ！

タデ原湿原でも見ることができますが、おすすめは久住高原側にある南登山口や一番水の周辺です。一面に咲き広がる春を告げる黄色の花にも注目です！